

会 議 議 事 録

1 会議名	令和3年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和3年8月5日(木)午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	オンライン会議
4 出席者名	<p>(委員) 中村委員長 水澤委員 草間委員 並木委員 楨委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 馬場学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 白崎経営企画室主幹 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長</p> <p>(事務局) 長岡市地方創生推進部 竹内部長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 小黑主任</p>
5 欠席者名	なし
6 議事	令和2年度業務実績に関する評価書(案)について
7 審議結果の概要	議事は評価書案のとおり承認された。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。これより、令和3年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに竹内地方創生推進部長よりご挨拶申し上げます。</p>

事務局・地方創生 推進部長	(部長挨拶)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名全員が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の水流理事長、馬場学長、河村副理事長、久島事務局長からご出席いただいております。</p> <p>それでは、議事の進行を中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長、よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>それでは議事に入りたいと思います。今日の議事は1件です。</p> <p>では、議事 令和2年度業務実績に関する評価書案について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局・政策企画 課課長補佐	(資料1-1～資料1-3、資料2により説明)
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、4つの大項目ごとにそれぞれ意見を確認します。</p> <p>まず、「第1 教育に関する目標」について、ご意見はありますでしょうか。</p>
委員	<p>コロナ禍の特殊な環境のなかで大学の方からは良く対応いただいたと思っています。</p> <p>一律5万円の給付で学生支援を実施したことや、デジタル対応などコロナ禍での対応が素晴らしかったと思います。</p>
委員	<p>学生支援に関する取組のなかで、悩みをかかえる学生にはカウンセラーがサポートするなどを大学からしていただけてまして、実家にも帰れない、遠方で親御さんも来れないという状況はどこの大学でもありまして精神的に病んでしまう学生が増えてしまっているのも事実です。大学のサポートを引き続きしていただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>コロナ禍で金銭的な理由で退学した人がいないということでしたが、都市部では精神的・金銭的な面から、続けたいのに続けられない</p>

委員	<p>学生がいるという話が聞き、そういう方が造形大学にはいないことは素晴らしいことだと思っています。</p> <p>まだまだコロナ禍が続くと思いますので、引き続き学生のサポートをお願いしたいと思います。</p> <p>コロナにより通常が取組が制限されたところもあるが、コロナ禍だから必要となった取組、例えばオンライン対応や学生へのケアなどが入ったことで、教育に関する取組としては A 評価になったということによろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>コロナにより通常とは違う状況となっているが、そのなかで大学側は工夫をし出来ることをしっかりやってもらっているということで A 評価になっています。</p> <p>また、全学的プロジェクトチームを発足し、現行の 4 学科から 3 学科への再編を打ち出すなど、元の構想もあったとは思いますが、そこにコロナ禍という状況も肉付けされたうえで進められていると思っています。</p>
委員長	<p>では、次の「第 2 研究に関する目標」についてですが、評価書には研究結果を発表するシステムの構築や教育研究組織の見直しについての取組が書かれていますが、ご意見等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>共同研究などでコロナによって影響が出たものはあるのでしょうか。</p>
学長	<p>企業との研究について、人の往来ができないことや社会状況をみて数件延期となったものもあります。しかしながらオンラインで可能なものは実施し、成果を出してきました。</p>
委員	<p>デザインとテクノロジーの活用は素晴らしいことだと思っていて、大学として常に課題として取り組んでいることなのではないでしょうか。</p>
学長	<p>教育研究の見直しは 3 年前から新しいかたちをどうしていこうかと検討をしていました。テクノロジーの進化が激しくなっていて、4～5 年のなかで新しい状況が生まれていくようなかたちです。当初は徐々に再編を進めていく予定でしたが、コロナが社会を一変させたため、一気に統合しながら早い段階で新しい社会に適應できる学生を</p>

<p>委員長</p>	<p>社会に送り出すことが決定しました。</p> <p>先生方は常に社会がどのように新しく展開するのかを研究していますし、さまざまな知見を持っていらっしゃいますので、その考えをうまく組織の見直しに落とし込めたと思います。</p> <p>卒業生の出口に変化はあったのでしょうか。</p>
<p>学長</p>	<p>2017年・2018年からすでに社会の変化はありました。本来はプロダクトの卒業生が就職するメーカーさんのインハウスデザイナーはプロダクト系を学んだ方が入ることが多かったと思いますし、メディア・広告は視覚系が多いと分かれていたように思います。ですが、ここ数年前からメーカーさんであっても5人中2人はグラフィック系を取るといことがあります。逆に視覚系のゲームメーカーさんは視覚系のみならず様々な学生さんを取ることが起きている。このように一つのものを作るときに専門だけでなく、多様性をもって新しい時代のニーズに答えを出していくという流れがあります。大学でも専門に特化した教育だけでは難しく、学年が上がるにつれて様々な知見を持つ、視野を広げていくことが必要であると多くの教員からの意見もありました。プロダクトと視覚というカテゴリーが一緒になるのは本来はとても難しいけども、教員も社会の要求はそうなっているということを知っていますので柔軟に対応できました。</p>
<p>委員長</p>	<p>大学院の動きはどうなっていますか。</p>
<p>学長</p>	<p>学部の3学科への統合、デジタル系とテクノロジー系を特化させていくコンセプトのなかで、大学院の方は同じような動きはしていませんが、次のステップではやらなければならないと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、次に「第3 地域貢献に関する目標」について、質問はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>長岡市枠の定義を定住自立圏に拡大し、優先枠定員を従来の2倍にし地元の方の門戸を広げたことは成果だと思います。</p> <p>学生が長岡市内もしくは新潟県内に一定数就職をしてくれる、地元で活躍してくれることが大学の目指すところの1つであると思うので、市と協力しながら地元定着に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>質問になりますが、卒業後の就職地を教えてください。</p>

<p>理事長</p>	<p>今年の3月末の卒業生と昨年の3月末の卒業生の就職先のデータを見比べると、昨年は半数程度東京での就職でしたが、今年は東京は半数以下になり、生まれ故郷や県内就職が増える傾向に変わりました。これはコロナ禍による大きな変化だと思います。社会全体が大都市圏から地方回帰と変わっていく流れがあり、一過性のものではなくコロナ後も続いていくように市・企業・産業界と一緒に取り組んでいかなければならない大きな課題であり、チャンスとなっています。</p> <p>長岡市では、ナガオカワーカーという東京の企業に勤めながら長岡のサテライトオフィスで働く斬新な働き方を取り入れており、学生にも新しい働き方があることを知らせて気づかせることが大切だと思います。暮らしやすい長岡に住みながら、東京に負けないエキサイティングで最先端な仕事が可能となり、ナガオカワーカーが増えればワーカーズコミュニティが育つと思います。再開発ビルのコワーキングスペースにナガオカワーカーと地元企業が入り産学官連携が促進されて好循環ができると期待しています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>私は7割が県外出身者というのは強みだと思ってまして、全国から個性豊かな学生が集まってくることは財産だと思っています。地域への定着は長い時間をかけて地道にやっていくことになりますが、地域貢献というのは大切なことなので、引き続き積極的に取り組んでいただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、「第4 業務運営等に関する目標」について、ご質問等ありませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>年度計画の通番82にあるように有価証券で15億円の大きな投資をしていますが、当初は予定していなかったが10年間の長期で大きな金額を投資しているので、計画しているよりうまくいったということでb評価からa評価に変えてもいいのではと思います。</p> <p>大学は教育の場であり公立大学だからといっても、経営とか財務をしっかりとしていくことは重要なことなので今後も計画的にしていけたらと思います。</p>
<p>副理事長</p>	<p>限られた資金ではありますができる限り生かしていき、資金運用にも努めていきたいと思っております。</p>

委員	<p>志願倍率のことですが、以前は志願倍率が低かったのが、大学の一生懸命な取り組みがあり現在では高くなっているということで大変嬉しく思います。</p>
委員長	<p>全体を通してコメントなどありますでしょうか。</p>
委員	<p>大学が学生に寄り添っていると思いました。授業が完全オンラインとなったときはほとんどの学生と連絡を取り現況確認をしたことや、修学環境整備支援金として5万円の給付など手厚いサポートをさせていただいているので、今後も続けていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、評価委員会として、この評価書で決定したいと思います が、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同 異議なし)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、事務局は、評価書を市長に報告してください。</p> <p>予定していた議事は以上となります。</p> <p>本日は、長岡造形大学からもオンラインで参加いただいております ので、大学を代表して、水流理事長、馬場学長のお二人から一言ずつ いただければと思います。</p> <p>(水流理事長、馬場学長 挨拶)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、私の進行はここまでとさせていただきます。ご協力いた だき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画 課課長	<p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>次第の2その他としまして、事務局からご連絡いたします。</p> <p>まず、本日もご審議いただいた評価書につきましては、今日の結果を 市長へ報告するとともに、9月議会に報告いたします。</p> <p>この第2回委員会を持ちまして、今年度の評価委員会は終了となり ます。</p>

	<p>お忙しいなか評価委員会に出席いただきありがとうございました。 また大学の業務運営に関して多くの意見をいただきまして、本日、評価書を決定することができました。重ねて御礼申し上げます。</p> <p>次回の評価委員会ですが、来年度、令和4年7月頃を予定しております。日程が近くなりましたら、改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>他に皆さんから何かございますでしょうか。 それでは、これで「令和3年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。 ありがとうございました。</p>
<p>上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">委 員</p> <p style="text-align: center;">委 員</p>	
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料1-1 令和2年度業務実績に関する評価書（案） ○ 資料1-2 令和2年度業務実績に関する評価（事務局案）に対する意見 ○ 資料1-3 令和2年度業務実績に関する評価（事務局案）の修正箇所について ○ 資料2 意見書 	